

## 君の夢は何ですか？

先日進学予定の3年生のある生徒から、進学先の学校から「自分の夢」というタイトルで作文の課題が出たが、そもそも自分の夢が無く何を書いたらよいか分からないと相談を受けました。改めて自分の夢は何かと問われると、皆さんの中でどれだけの方が自分の夢について語ることが出来ますか。小学校時代は将来の夢は「パイロットになること」「看護婦さんになること」・・・等々と話すことが出来ましたが、年を重ねる毎に自分の夢が薄れて行きがちです。



世の中には自分の夢を一生追い続け、その夢を一步一步実現させている人がいます。そんな人の生き様はうらやましくなります。しかし私達の多くは一体自分の夢が何だったのか分からないと思う人が多いのではないのでしょうか。自分の目標も無く、ただ日々漠然と生きているだけでは人生そのものがつまらなくなるでしょう。やはりたとえどのようなことであっても、自分なりの夢を持ちその夢を追いかけるような生き方をしたいものです。夢を夢で終わらせないためには、夢に期限をつけると、目標が変わります。

まだ自分の夢がつかめない人は、普段から、自分の夢を探し続けることが必要でしょう。何か目標を持ちそれに向かっていく人は、どこか輝いて見えます。皆さんのこれからの長い人生を少しでも生き甲斐を持って充実させるためにも、自分の夢探しを心がけ、その夢の実現のために前向きに生きて欲しいものです。



## 社会人としてのマナー講座6

### 気配りのすすめ

以前に本校の生徒が路上で困っているお年寄りに手助けをして、学校にその方より感謝の電話を頂いたことがありました。私達はややもすると人が困っている姿を見ても、見て見ぬふりをして素通りしてしまいがちです。ちょっとした気配りが、相手にとってどんなに助かるかしれません。

日常生活の中でもちょっとした相手への気配りをするか否かで、その人への印象が変わってきます。これまでこのコーナーでも書いてきた、言葉使いや、挨拶の仕方、お客さんへの対応の仕方、上司等への対し方等々、様々な場面で相手に対してどれだけ相手の立場に立ったものの見方が出来るかに関わることです。

いつも自分の世界だけに気持ちが留まっている人には、こうした気配りは出来ないでしょう。そうした人は社会性が欠如しているとみなされてしまいます。最近の若い人はこうしたことが欠けがちなのも確かです。家庭のしつけと云ってしまえばそれまでですが、少なくともこれから社会に出る皆さんは、今更そんなことを言われてはいられません。いやが上にも様々な場面でこうした気配りの訓練が求められてくるでしょう。

いつもボーとしているのではなく、相手の立場に立って物事を考えられるようになる心がけがまず必要でしょう。「あの人は良く気が利く人だ」といった言葉が使われることがあります。普段から周囲に気配りをしていないとこうした、気付きは少なくなってしまうでしょう。人間関係の潤滑油はまさに相手への気配りがどれだけ出来るかに関わってきます。皆さんも是非気配りが少しでも出来るよう普段から心がけましょう。